

# まちづくり通信 Vol. 15

制作・発行 鹿折地区まちづくり協議会 発行日:2014年10月30日

## 鹿折まちづくり協議会に参加しましょう！

鹿折まちづくり協議会(まち協)は、地区の皆さんの声をまちづくりに反映するために活動している住民組織です。鹿折地区に関わりのある方ならどなたでも参加できます。

### こんな活動を行っています：

- まちづくりサロンの開催。サロンは、地域の皆さんが集まり、復興事業や将来のまちづくりについて語り合う場。月に一回開催。
- 行政や関係機関との調整・連携・協働。
- 鹿折地区の復興事業に関する情報を収集・提供。
- その他、鹿折のまちづくりに関することであれば相談を頂き、必要に応じて関係機関に問い合わせます。

### 事務所の営業時間：

事務局員が下記の時間帯に事務所に駐在していますので、お気軽にお立ち寄りください：

★毎週 月・水・金、9:00～16:00

☆事務所：鹿折復興マート A 棟 2 階

住所：気仙沼市新浜町 1-3

アクセス：路線バス大沢線「新浜町」バス亭。駐車場あります。

8月に引っ越しました！

## 鹿折まち協の総会が開催されました！

10月18日(土)、鹿折まちづくり協議会の定期総会が鹿折公民館にて開催されました。時期が遅れてしまいましたが、昨年度の事業報告や決算報告を行い、承認されました。昨年度の活動については、大きな目玉はやはり3月に行った、グランドデザイン提言書の市長への提出でした。



## まち協の予算、収支はどうなっているの？

昨年度は、会員自治会からの協力金、助成金「赤い羽根共同募金」が主な一般会計の収入でした。また、宮城県による「みやぎ地域復興支援助成金」から成る「特別会計」についても報告されました。支出は主に事務所の共益費や備品費、広報の印刷費、視察研修費など。今年度は、気仙沼市による「復興まちづくり協議会運営費補助金」を主な財源にしています。

### — まち協組織を拡大へ —

今年の総会の大きなテーマは、以前から住民の間から要望のあった、鹿折まち協の構成地区を被災地 13 地区から鹿折全体の 24 地区に拡大すること、そして自治会長以外にも活動メンバーを巻き込むことについてでした。協議の末、この新しい方針が承認され、来年度からの新体制確立に向けメンバー集めをすることに。鹿折に関わりのある方でまちづくりに興味がある方を募っていきます。

## 市長に要望書を提出しました！

10月7日、新浜町二区自治会と連名で市長に提出した要望書があります。地区では、BRT 専用道のガードレールが設置されると通れなくなってしまう避難道や生活道があります。鹿折まち協は、地区の皆さんの声を受けて自治会長と一緒に現地調査を行い、役員会で協議した上で、一緒に要望書を提出しました。



## 市・URとの定例打ち合わせ

行政との連携を強化するため、鹿折まち協・市・UR都市機構(UR)間の三者打ち合わせを定期的に行っています。10月17日に3回目の打ち合わせがあり、野崎アドバイザーにも出席頂きました。

サロンなどで出た住民意見を伝える、鹿折の復興事業の進捗や見通しについて聞く、今後の活動について調整するなど、色々な意味があり、今後も活用していきたい連携の場です。





## 9月のまちづくりサロン

9月21日(日)、まち協事務所で「鹿折まちづくりサロン」を開催しました(約30名参加)。

まず、前回のサロンで出た意見や質問について、まち協が入手した最新情報を共有しました。テーマは「防災集団移転の地盤」、「BRT 専用道工事」、「地区内の屯所」、「避難道路の拡幅」など。

全体での意見交換では、「災害公営住宅をターゲットに事業をしたいので、大まかな情報があるといい」、「錦町の低地ゾーンについて、市による説明が少ない、今の状況はどうなっているのか?」といった声がありました。これらも行政の担当部署に問い合わせ、まち協としてフォローしていきます。

最後に、「知りたいことを事務局に事前に言ってあげれば、最新情報を調べてから協議に臨めて効率的では」という意見がありました。もしサロンで話し合いたいテーマや知りたいことがありましたら、お知らせ頂ければ前もって準備します。



## 10月のまちづくりサロン

10月19日(日)、19名の参加を得てサロンを開催しました。この回は、鹿折加工協同組合の方も出席され、水産加工集積地の状況が共有されました。「ハコモノはできても大事なものは働く人が戻ってくること、そのためには魅力的なまちづくりが必要」、という点で、土地区画整理区域と一致しています。サロンではそのほか、「なるべく具体的に何がどこに出来るのかの情報ほしい」という声も。住民さんに「戻ってきたい」と思ってもらえるように、鹿折まち協としても、具体的なイメージづくりができるようフォローしていきます。

## 臨時役員会:用途地域等の変更について

9月29日、臨時役員会にて、鹿折地区の用途地域等変更に関する説明が市都市計画課より行われました。土地利用計画に沿った形で、商業地や住宅地が形成しやすいように、建築物の制限を緩和したい拡大したいものです。後日、一般住民向け説明会が開かれ、手続きを経て、年内に発効する見込みということです(換地の状況次第)。



**【稲刈り体験】**10月3日、佐藤良治・まち協副会長主催の稲刈り体験。鹿折小学校5年生の皆さん、とても楽しそうでした。

## ～鹿折まち協がかかわった地域のイベント～

**【見学台の完成】**8月11日に見学台が竣工、以来、毎日大勢の方々が訪れて、まちの復興状況を実感しています。また、支援者の協力により、献花台、鎮魂の碑、花壇が設置され、被災者追悼の場となっています。10月13日には竹下復興大臣が菅原市長や小野寺衆議院議員と共に訪れました。



**【マルシェ開場イベント】**8月末をもって、鹿折復幸マルシェが開場しました。8月11日には開場イベントとLight Up Nipponによる花火が打ち上げられ、盛大に締め括られました。当日は最後まで雨が心配されていましたが、その時間だけすっきりと晴れ、皆の想いが詰まった感動的な花火となりました。



**【復幸マート再出発】**鹿折復幸マートが新浜町で再出発。10月5日にはオープンイベントが開催され、再出発を祝う人たちが賑わいました。まち協もイベントの準備や、パンフレット作成を近畿大学チームの力を借りてお手伝い。市内各所に置いてありますので、見かけたらぜひ手にお取り下さい。





## 鹿折地区の復興事業の進捗状況

**【マッチング】**現在、UR が事務局となり、地権者と事業者を引き合わせるマッチング会が行われています。15 者から引合いが来ており、業種はスーパー、ドラッグストア、コンビニ、運送会社など。地区中心の商業エリアが事業者に人気ようです。

**【鹿折川河川堤防】**7 月に河川堤防工事「その 3」の工事が始まりました（三井住友建設）。まち協としては、なるべく親水性を確保するための工夫（河川に降りられるようにするなど）を県土木に対して要望しています。

**【架橋】**河川堤防工事に伴い、東八幡前 14 号線橋（仮）が新設されます。そのため東中才東八幡前線が一部通行止めとなり切り回しが行われています。

**【商店街】**現在商業部会が中心となり、新かもめ商店街の形成に向け話し合いが進められています。建物の建設、入居するテナントについてもこれから具体的に詰めていくことになっています。

**【公益施設ゾーン】**公民館、児童館、消防屯所の建設が予定されています。施設の内容や立地スケジュール等は未定となっています。（南側敷地は復旧予定のポンプ場）

**【BRT】**気仙沼駅～鹿折唐桑駅間の路線が撤去され、BRT専用道の敷設工事が 8 月に開始しました。工期は概ね 7 か月間。今のところ、上鹿折まで専用道を伸ばす予定はないそうです。

**【災害公営住宅】**7 月に入札が行われましたが不調に終わり、現在は、再公募の手続きに入っています。平成 28 年 3 月入居とされていたスケジュールが延びる可能性があります。

**【かさ上げ】**土地区画整理事業による土地のかさ上げが急ピッチで進んでおり、日々刻々と景色が変わっていています。

**【低地ゾーン】**錦町一帯の土地区画整理事業外のエリアは、低地ゾーンとして被災市街地復興推進事業による盛土が行われています。現在、土地のかさ上げ（2.2 m程度）はほぼ完了していますが、今後順次道路のかさ上げ、ガスや上下水道などのインフラ整備が予定されています。かさ上げが完了した土地は所有者に引き渡すこととなりますが、災害危険区域に指定されていることから住宅を建設するには制限があります。住宅用地だった土地は市による買い取りが可能です。

**【見学台／復幸マート一帯】**地区全体のかさ上げが進む中、新浜町一帯は、見学台／献花台、復幸マート、子供向け遊具、セブンイレブン、タイヤショップ ITO、鹿折軒などが移設済みであるほか、近く清水 JV 事務所や UR まちづくり情報館も引越してくる予定で、ますます賑わうことが予想されます。

**【水産加工施設等集積地】**現在、以下の水産加工会社が工場建設に着工しています：（株）ミヤカン、（株）かわむら、（株）加和喜フーズ、（株）気仙沼ほてい、鹿折加工協同組合事務所の 5 社です。一番早い企業は来年 4 月には稼働開始する見込み。そのためには道路及びインフラ整備がスムーズに進むことがとても重要となっています。また、水産加工所で働く人材の確保も急務となっています。

	住宅地
	商業地
	工業地
	公共施設
	公園・緑地

## 11月のお知らせ：

・11月16日（日）13:30～15:00：鹿折まちづくりサロンの開催。於：復幸マートのまち協事務所。

・11月27日（木）18:30～20:00：市政懇談会。於：鹿折小学校。

（11月21日～23日は神戸での「阪神・淡路大震災と東日本大震災の復興まちづくりフォーラム」に鈴木会長と事務局が参加します）

## 活動メンバー募集！

今後は、自治会長以外にも各地区から活動メンバーを募り、まちづくりへの住民参加を広げていく予定です。そして、具体的なまちづくりのアイディアを出し合う専門部会を編成することになります。例えば以下のような部会が考えられます。

ご希望の方はぜひご連絡を！

・復興部会 ・賑わい創出部会 ・イベント部会 ・福祉部会 ・婦人部会



### まち協の佐藤福会長からメッセージ！

約15年間、稲刈り体験を子供たちにさせてきました。農薬を使わず、肥料も堆肥を使った田んぼです。子供たち、親御さんたちには「食の安全」についてぜひ意識をもってほしいと思います。スーパーにはキレイでまっすぐな野菜ばかり並んでいますが、見栄えよりも大事なものは安全かどうか。家庭菜園も無農薬でやっています（こちらは妻の領域！）。そういった観点からもまちづくりを見ていけたらと思います。

### 投稿コーナー（詩、川柳）

ここは皆で作るコーナーです。皆さんふるってご投稿下さい！

- ＊ この町で また皆と  
一緒に暮らしたい 伊藤佐智子
- ＊ トラックが 右に左に 復興区 鈴木博
- ＊ 序列変更「地震・エボラ・雷・火事・親父」小野寺忠行
- ＊ 思いでの 時間を止めて 華火舞 洋平
- ＊ 手向けられた 花見て誓う 復興へ 丹澤千草

当まちづくり通信は、気仙沼市のホームページでもご覧いただけます <http://www.city.kesennuma.lg.jp>

トップページ ⇒ ジャンル別メニュー「都市計画・まちづくり」 ⇒ 「まちづくり」から

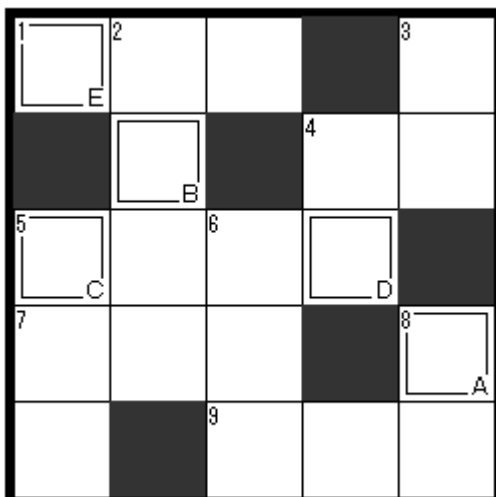
＊Facebookでまち協の近況や鹿折の復興状況についてアップロードしています。



「鹿折まちづくり協議会」で検索し「いいね」をクリック！

＊メールでのお便りは、[shishiori14@gmail.com](mailto:shishiori14@gmail.com)まで。

### クロスワードパズル



「A～E」の5文字で、言葉を作ろう！

『 』 ⇒回答は次号

### タテ

【タテ2】塩づけした肉を煙でいぶし、乾燥させた食品。

【タテ3】野山に生える落葉樹。実がいがいがのとげで包まれている。

【タテ4】利益を失うこと。また、失ったもの。

【タテ5】周りをよく注意して番をすること。

【タテ6】火薬を爆発させて物を破壊すること。

【タテ8】年上の女のきょうだい。

### ヨコ

【ヨコ1】ひふにできる小さな黒いはん点。

【ヨコ4】雪や氷の上をすべらせて、人や荷物を運ぶ乗り物。

【ヨコ5】店先で客の応対や商品の見張りをすること。また、その人。

【ヨコ7】五・七・五の十七音からできている短い詩。

【ヨコ9】半分の値段。

前号の回答： 「サンマ」